



# ふなばし 国際交流協会ニュース

<第38号>

2008年3月20日発行



国際交流ニューイヤーパーティー

## 2008 ニューイヤーパーティー フィリピン特集 (1月29日)

恒例となっている国際交流ニューイヤーパーティーが、1月27日に宮本公民館で行われました。

今年のテーマは「フィリピン」。顔なじみのフィリピン女性たちが民族衣装を身にまとい、見違えるような美しさで、お馴染みのバンブーダンスはもとより歌、民族舞踊などを披露してくれました。



その様子は本場のエンターテインメントと見まごうほどの華やかさと腕前でした。



また、料理は中ネリーさんを中心に昨年末の試作会を踏まえ、素晴らしい出来栄と美味しさでした。200余名分のフィリピン料理作りはボランティアの力の結集でした。

ただし、主催者がお願いした、各自が使用した食器類のごみ持ち帰りはかなり協力してもらえましたが、まだ放置して帰る人があり残念でした。

広報委員 田嶋

# 目で見える世界の国 **第13回** イエメン共和国



イエメンの位置

シバ女王の国、3千メートル級の山々があり雨の降るアラブ



世界遺産砂漠の摩天楼シバーム



2000m 超の山にある段々畑



世界遺産古都ザビード

<http://www.travel-yemen.com/>より拝借

ウィキペディアより



国旗

## ひとこと紹介

アラビア半島南部に位置するイエメンの歴史は伝説の時代に遡ります。聖書に登場するノアの息子セム（サム）が一羽の鳥に導かれ、ヌクム山の麓、現在のサナアに町を造ったのが起源とされています。

紀元前10世紀頃にはシバ王国が出現し東西交易の中継都市として大きく栄えました。

さらにこの地域の特産品である注「乳香」はヨーロッパ貴族に重宝され、金と同じ価値で取引されたとも言われています。

注「乳香」：南アラビア、東アフリカ、インドに分布する樹木から採れる乳白色の芳香性樹脂で、香として焚かれ、香料、製薬や薫蒸の調剤に用いられる

また、インドから運ばれてくる香辛料や中国からの絹など様々なものがシバ王国を經由してヨーロッパへ運ばれたため、これらの品々が南アラビア産だと信じた商人達はイエメンをラテン語で”ARABIA FELIX” 幸福のアラビアと呼んだのです。

広報委員 福井

## ミニ情報

国名	イエメン共和国
面積	55.5 万平方キロメートル (日本の約 1.5 倍弱)
人口	約 2,229 万人 (2007 年)
民族	アラブ人 (他にインド系も)
首都	サナア
言語	アラビア語
宗教	イスラム教
通貨	イエメン・リアル (YR) 1 \$ = 199.1 (YR) (2007 年推定)

## 国際理解公開セミナー 1. 「イエメンってどんな国？」 (1月25日)

「イエメンってどんな国?」と題し、協会の人気行事、国際理解講座が1月25日開催された。



イエメン男性のようにジャンビーア(半月形短剣)を帯刀して講演する佐藤 寛氏

今回は、日本では話題になることの少ないアラビア半島南端のイエメン共和国。講師は、アジア経済研究所 佐藤 寛さん。イエメンサナア大学研究員、在イエメン日本大使館調査員、イエメン共和国大臣アドバイザーなどを務められ、本もたくさん書いておられる。イエメンに関する第1人者。

純粋アラブの血統を誇る国民であり、紀元前10世紀にも遡るシバの女王伝説とシバ王国の遺跡があり、世界最古のモスクを有する国。有名なモカコーヒーの名は、首都サナアの外港で、コーヒーの積み出し港モカに由来する。一方、国民所得は年600ドル程度で貧しい。平均寿命が50代半ば。15歳以下が人口の半分を占めるなど興味深い話題を盛りだくさんに淀みなく話

される。

砂漠の国というイメージとは異なり2、3千メートル級のけわしい山岳地があり、これが紅海からの風を遮ることで雨が降るため、高地に段々畑が営まれ、山のでっぺんに村がある。てっぺんに村を作るのは安全上の配慮から。理想の結婚はいとこ同士。これも財産の保全を考えてのこと。スーク(市場)に女性はいない。買い物は男性の仕事。世界遺産、シバームの摩天楼は日干し煉瓦を積み上げたもので耐震性はない。イスラムの国なので酒はないが、代わって、ある種の植物を噛むことで陶酔境にいたるものがある。この植物(乳香)をテニスボールくらいの大きさになるほどほおばり楽しむ。これに金をつぎ込みすぎ家庭崩壊になる例もある。

このような、われわれには極めて耳新しい話を、声量豊かに、ユーモアたっぷりに、実に楽しそうに語られ、参加者の耳目を引きつけた。

そのためか、これまでになく質疑応答も活発な講演であった。



広報委員 遠藤

## 国際理解公開セミナー 2 (2月29日)

¡ Viva Chile y Argentina ! ～遠くて近い国、チリとアルゼンチン～



カピバラの皮のジャケット、ベスト、靴のアルゼンチンモードで講演する塩田さん

2月29日、週末を迎える金曜日の夜、船橋市中央公民館で表題の国際理解公開セミナーが開かれた。講師は JICA シニア海外ボランティアをしておられた塩田悦三郎さん。入場者は 40 名強で、会場はほぼ満席であった。

自己紹介によると塩田さんは合気道の心得もあり、かつ日本で中小企業の役員もされた文武両道の人物である。

しかし、堅苦しい感じはせず、話し方も含めて何か朴訥な感じさえするお人柄であった。講師と聴衆がすぐに一体となる

雰囲気での講演会となった。

2004年にチリで日本語の教師をされたり、2006年にはアルゼンチンで中小企業の経営指導をされたりした。両国は南米大陸南部の隣国土の国であり、しかも言語も共通でスペイン語である。でもお話によると、両国民

ともスペイン系が主体ながら、アルゼンチンの方にはイタリア系が、チリの方にはドイツ系が混じっている。そのためか片や陽気で、片や生真面目というように国民性が異なるとのことであり興味深かった。

しかし、塩田さんのお話振りはその国民性の違いに余り拘らず、融通無碍に包含されて話を展開されていった。聴衆は話しに引き込まれていった。聴衆は話しに引き込まれて行った。スクリーンの映像でタンゴの演奏とダンスが紹介された時、CDでタンゴの曲も流れ、以降 BGM となって流れ続いた。

聴衆のほとんどは、かくいう私も含めて、シニアであったので

夫々懐かしいアルゼンチンタンゴにつながる若い日の思い出にふけた事であろう。遠い両国がグッと近づいた夕べであった。

広報委員 小柳



協会ホームページ掲載のサンチャゴレポートとエノスアイレスレポートを製本されたものを井上会長に贈呈する塩田さん

## 《国際交流協会の委員会紹介シリーズ 2》

### 委員会はこんな活動をしています

今回は、交流員会と広報委員会をご紹介します

#### 交流委員会

会員や在住外国人を含め、広く市民が気軽に参加し、交流と相互理解を深める草の根交流活動がかずかず企画されている。最近では1月27日に「ニューイヤーパーティー」が開催され、その活動の中心的役割を果たした。本年度はフィリピンがテーマで賑やかなイベントであった。



「ニューイヤーパーティー」の反省会に出席の交流委員

2月11日には、その反省会が開かれて、平成20年度の次年度事業計画も検討された。

主なイベント予定は、①国際交流のつどい ②ニューイヤーパーティー ③海外文化交流の旅。

傘下の「文化交流グループ」では隔月に外国出身者交流会が開催する。

Why don't you join us ?

広報委員 中谷

#### 広報委員会

広報委員会では年3回発行の「協会ニュース」や「協会ホームページ」の運営、「国際交流のつどい」のポスター作成、最近では災害時の外国人向け広報活動への協力なども行っています。

平成3年、協会事務局が創刊した協会ニュースは平成10年、第10号から広報委員会が担当。毎号、中身の濃い活発な国際交流の話題を載せています。昨年7月発行の第36号からは1、4ページがカラー仕立てとなり、国際交流活動のようすがさらに生き生きと紹介されています。

また、協会ホームページ[www.fira.jp]を今年1月より一新。協会活動のようすがさらに分かりやすくなりました。

広報活動を楽しみながら国際交流の輪を広げませんか。

広報委員 小管



国際交流協会ニュース校正会議

# ズームアップ

宮本 井上 東亜子さん

## 台湾旅行に参加して

昨年11月に交流委員会の方々の企画による台湾文化交流・観光の旅に参加した。

降り立った桃園国際空港や市内で目にした古い漢字に何か故郷に戻ったような気分になった。

総統府の見学や外交部への表敬訪問などを行なった次の日、台北のキリスト教会大安松年大学を訪問した。ここは教会活動と共にシニアの方々の勉学と交流の場（いわゆるシニアカレッジ）になっているところである。朝、訪問した私達に一人一人がレイをかけて出迎えて下さった。日本統治時代に日本の教育を受けた方もおられ、きれいな日本語を話されていた。

中にある礼拝堂でメンバーの方々が歓迎の歌を歌って下さったのに対し私達も「さくらさくら」を歌い、最後に一緒に歌った「ふるさと」は一つになって礼拝堂に響いた。屋上に出てボールゲームに興じた後は、いろいろある課程の中から折り紙、体操、書法、歌唱のクラスに分かれて参加、私は書法に出席して先生の指導で書をしたためた。



大安松念大学で「書法」の指導を受けた参加者



大安松年大学で、両国で「ふるさと」を合唱して交流

昼食は私たちのためにコックさんに頼んで作ったという台湾料理や豊富な果物をカレッジの皆さんとなごやかにいただいた。友好のしるしにプレゼント交換をし、帰りには大安教会のロゴ入りの若々しいシャツなどをおみやげにいただき、再会を期して名残を惜しんだ。

訪れたカレッジは毎年海外旅行をしたり途上国の人々を援助したり、また国内の病院を慰問するなど、知的好奇心を満たしながら、生き生きとボランティアもされているという恵まれたシニアの方々の団体であったが、いろいろと学ぶところが多かった。

台北市は古いものを守りつつも近代化された面と庶民の生活に根づいた夜市などが一体となった魅力ある都市という印象を持った。

郊外の長い石段の街「九?」の趣きのある小店や「十分」の瀑布、おいしかった飲茶の店など、もう一度行きたいと思う。

三泊四日のコンパクトな旅であったが交流と観光の有意義な旅となった。

## お知らせ

平成20年度総会は、5月22日（木）午後3時から

会場：船橋商工会議所6階講堂

19年度の決算報告や新年度の活動方針や予算を決定する会員のための総会です。総会終了後には懇親会も予定されていますので、ぜひ、ご出席ください。

4月下旬に総会資料とともに出欠確認の文書を会員の皆さんに送付します。

### 平成20年度会費納入のお願い

協会の会費は、毎年4月から3月までの1年間の年会費です。同封の振込票により平成20年度の会費をお近くの「ゆうちょ銀行」からお振り込みください。

なお、会員数の増加により事務局においての現金による会費の納入については、今年度から事故防止の観点からもご遠慮いただきますのでご了承ください。

個人会員 一口1,000円以上千円単位

法人・団体会員 一口10,000円以上10,000円単位

振り込み先 ゆうちょ銀行

口座記号番号 00170-7-57755

### ホストファミリーで草の根交流！

6月と11月には外務省の外郭団体が招聘する中国人学生たちが千葉県を訪れます。滞在期間中、1泊だけですがホームステイも組み込まれています。短期間ですが、はじめてのホストファミリーには丁度良い機会かもしれません。詳細が決まり次第ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

### あとがき

我が家には、実の娘のような、アメリカ人のトミーという娘が居る。20年ほど前に17歳の彼女が、6週間我が家にホームステイした時が最初の出会いだが、日米にまたがる仕事をしたいという夢を持って帰国した。

その後、日本語を学ぶ学生として、ALTとして、そして仕事でと、来日する機会があり、その度毎に、“Dream comes true.”と、抱き合って喜んだものだった。

そして遂に昨年9月から東京で働くことになった。日本人並みのワーカホリックで、何度か体調を崩したり心配な面もあるが、日本の母親として、見守っていききたい。  
(SN)